

修了要件と履修の方針（都市システム科学域）

■ I 博士前期課程

1 課程の修了要件

- 1) 学位の種類については、教員との協議の上、「都市科学」「理学」「工学」の3種類から選ぶことが可能である。

2 履修の注意事項

- 1) 以下の必修講義を含む30単位以上の単位の修得が必要である。選択必修講義については12単位以上を履修する。

必修講義：「都市システム科学セミナーA」「同B」「同C」「同D」

「都市システム科学概論（前期集中）」

- 2) 各講義・演習は「第一分野（都市情報・空間システム系）」「第二分野（都市人間・社会システム系）」「共通」の分野に分かれている。自身の所属分野に照らし合わせ、履修の計画を立てる際の参考とすること。
- 3) 一級建築士受験要件の実務経験取得のための科目は、修了単位には含まれない。一級建築士試験の実務要件については、別に案内を配布する。

3 修士論文について

- 1) 修士論文は各指導教員の指導により作成を進める。
- 2) 修士論文の内容は、都市システム科学セミナーにおいて2年間の間に3回の発表を行い、学域の全教員の指導を受ける。標準的な都市システム科学セミナーの発表順は以下に示す通りである。

①テーマと研究計画の発表（1年目後期）

②進捗状況の中間発表（2年目前期）

③進捗状況の中間発表（2年目後期）

4 修士論文審査の手続きと基準

- ・修士論文は主査（指導教員）と2名の副査からなる審査委員によって審査される。
- ・論文提出者は口頭試問に際して60分を目安として口頭発表および質疑応答を行う。口頭試問で合格した修士論文を最終発表会で発表することにより審査に合格する。
- ・審査委員は提出された論文および口頭試問の内容に基づいて、以下の項目を考慮して5段階で点数をつけ、合否を判定する

- (1) 自ら習得した知識や既往の研究を踏まえた上で研究目的が明確に示されており、修士論文にふさわしい学術的意義があるか。
- (2) 目的にあった研究方法、資料、データが用いられているか。
- (3) 研究結果に基づいて的確な考察・結論が導かれているか。
- (4) 独創性があるか。
- (5) 論文構成、文章表現、図表などは適切か。
- (6) 社会的に有用な知見が得られているか。
- (7) 博士前期課程での学習を通じて主体的に修士論文が書かれているか。
- (8) 都市科学ゼミナールおよび修士論文発表会でのプレゼンテーションと質疑応答が適切か。

■ II 博士後期課程

1 履修の注意事項

- 1) 以下の必修講義を含む20単位以上の単位の修得が必要である。選択必修講義については12単位以上を履修する。

必修講義：「都市システム科学特別研究A」「同B」「同C」「同D」「同E」「同F」

2 博士論文について

- 1) 博士論文は各指導教員の指導により作成を進める。
- 2) 博士論文の内容は、都市システム科学セミナー（都市システム科学特別研究）において3年間の間に4回の発表を行い、学域の全教員の指導を受ける。標準的な都市システム科学セミナーの発表順は以下に示す通りである。

- ①テーマと研究計画の発表（1年目）
- ②進捗状況の中間発表（2年目）
- ③進捗状況の中間発表（3年目）
- ④研究成果の発表（3年目）

4 博士論文審査の手続きと基準

- ・ 4回の都市システム科学セミナーでの発表を行い、指導教員の承認を得た上で「予備審査」が開始され、その後「論文受理」、「本審査」、「公開発表会」を経て最終判定が行われる。
- ・ 博士論文は主査（指導教員）と2名以上の副査からなる審査委員によって審査される。
- ・ 審査委員は以下の項目に基づいて、合否を判定する。
- ・ 博士論文公開発表会後の学域教授会において決定し、都市環境科学研究科教授会に報告する。

- (1) 自ら習得した知識や既往の研究を踏まえた上で研究目的が明確に示されており、博士論文にふさわしい学術的意義があるか。
- (2) 目的にあった研究方法、資料、データが用いられているか。
- (3) 研究結果に基づいて的確な考察・結論が導かれているか。
- (4) 国際的に見ても高い独創性があるか。
- (5) 論文構成、文章表現、図表などは適切か。
- (6) 社会的に有用な知見が得られているか。
- (7) 博士後期課程での学習を通じて主体的に博士論文が書かれているか。
- (8) 都市科学ゼミナールおよび博士論文公開発表会でのプレゼンテーションと質疑応答が適切か。

博士前期課程	修士論文	講義・演習 (30単位以上)			
	<ul style="list-style-type: none"> ● テーマ発表 (11月) ● 中間発表 (4月) ● 中間発表 (10月) ● 口頭試問 (1月) ● 最終発表 (1月) 	必修 (10単位)	選択必修 (12単位以上)	選択	他専攻/ 他学域 (10単位以下)
博士後期課程	博士論文	講義・演習 (20単位以上)			
	<ul style="list-style-type: none"> ● テーマ発表 (5月) ● 中間発表 (5月) ● 中間発表 (5月) ● 中間発表 (10月) ● 論文審査 ● 最終発表 	必修 (12単位)	選択必修 (12単位以上)		